

地理歴史科学学習指導案

富山県立富山中部高等学校
指導者 麻生 慶彦

- 1 日 時 令和3年7月15日(木)
- 2 場 所 3年6ホーム
- 3 学年・学級 3年6ホーム 23名
- 4 単 元 名 「国家と領域(生活文化)」
教材名「Google Earth Engine 夜間光」

5 単元の目標

国家という枠組みについて学ぶことを通して、国際社会について理解する。

国境という、人為的な線を地球上に引いてきたことによって生じている問題を通して、国際社会が抱える問題について考察する。

我が国の領域について理解を深める。

6 単元について

(1) 生徒観(略)

一般図と主題図を組み合わせてみることで、その地域の様子について推察する力に長けている生徒が多く、地理的事象について積極的に考える様子が見られる。

(2) 教材観

国家はそれぞれが独立した存在であることが保証されており、それぞれが独自の政策をもっている。そのため、国家は他国に対して排他的な対応をとることが可能である。一方、他国と盛んに交流することがその国のメリットになることも多い。国境を接している国どうしの関係は、一般的な地図では把握しきれないことが多いが、「Google Earth Engine 夜間光」を用いることでその関係を窺い知ることができる。また、自然環境が国家を隔てていることも多く、その様子も容易に確認できる。

(3) 指導観(宇宙教育を使うよさ)

地図と夜間光を並べて見ることで国家間のつながりを直感的に把握したり、空中写真と夜間光を並べて見ることによって自然地形が隔絶性をもっていることを把握したりすることが可能である。様々な事例を確認し、考察することを通して国家間の関係について理解を深める。

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 一般図と夜間光の地図を並べて見ることでその地域の様子について推察することができる。	① 夜間光の連続が途切れている部分の理由を、地図帳を通して把握することができる。 ② 国境をまたいだ光の連続の理由を既存の知識から考えることができる。	① 様々な国家間の関係性について地図を読み取り考えようとしている。 ② 現代社会の抱える問題を自ら読み取ろうとしている。

8 単元の指導計画・評価計画 (3時間扱い、本時は2/3)

時	目標	・学習活動	評価の観点		
			知	思	態
1	○国家の3要素について理解する。 ○国家の領域やその周辺における権利について理解する。	・「国家」という条件を満たすための条件を考える。 ・主権を有する国家が与えられるべき権利について考える。	○	○	
2 本時	○国境の種類・役割について理解する。 ○国家間の関係性について理解する。	・どのような国境があるか調べる。 ・夜間光の地図を通して国家間の関係について考える。		○	○
3	○民族問題、領土問題について理解する。 ○日本が抱える問題について理解する。	・問題を生じさせているものがなにか考える。	○	○	

9 本時の授業計画

(1) 本時の目標

- 国境の種類・役割について理解する。
- 国家間の関係性について理解する。

(2) 本時の流れ

	学習活動と内容	指導上の留意点	【評価の観点】 〈評価場面や方法〉
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な国境を地図で確認し、その特徴について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてどのような主題図を見れば分かりやすいかを伝える。 	
展開 (45分)	<ul style="list-style-type: none"> ・国境の種類を確認する。 ・各自がタブレット端末を操作し、「夜間光」を参考に国境について考える。 夜間光と空中写真を並べて表示する。 夜間光と一般図を並べて表示する。 夜間光のレイヤーの透過性を高めて国境と夜間光の関係を示す。 海上の夜間光を表示し、海上の境界について考える。 <p>※ゴシック体の箇所は「夜間光」の活用場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然的要因や大国の意向が国境に反映されていることに気付くよう促す。 光が途絶えている箇所と自然地形の関係について考えるよう促す。 光の連続が国境をまたいでいる場合や、逆に国境付近に光がみられないケースをくらべ、それぞれの国家間の関係について考えるよう促す。 レイヤーの透過性を調整することで2つの地図を容易に比較できることを伝える。 国家間が陸で接していない場合でも排他的経済水域の接点を挟んで夜間光に違いが生じていることを気づかせる。 	<p>どのような自然地形が国境を形成しているか理解できたか。</p> <p>夜間光を用いることで国境や国家間の関係について理解したり推測したりすることができたか。</p> <p>夜間光を通して工業など既習の分野理解を深めることができたか。</p>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の活動を通して得られた情報を生徒間で共有する。 ・本時の内容についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各事例について理解を深められるよう補足する。 	<p>活動を通して発見した知識を周囲に伝えることができたか。</p>